(単位:千円)

**前年度当初予算額** 6,554

**本年度要求額** 16,478

総務部長段階査定額 15,175

**市長段階査定額** 15, 175

	区分	本年度予算額
旪	国-県支出金	420
源	地方債	0
内	その他	0
狐	一般財源	14, 755
	計	15, 175

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

また、地域における防災体制の整備強化を行うことにより、災害時の被害軽減が可能となるため、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく必要がある。 【事業の目的及び効果】

① 住民への防災情報伝達

災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行い、住民への情報提供を行う必要がある(自主防災会等へのメール配信など)。

② 地域防災計画、総合防災マップの活用

地域防災計画、総合防災マップを活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。

③ 災害時応援協定都市との交流

災害時において相互応援協定締結都市と情報の共有を行い、災害時の連携強化を図る。 【事業の内容】

- ・地区防災マップ印刷費助成
- ・総合防災マップ改定
- ・職員参集システム、自主防災会メール配信システム、被災者支援システムの運用
- 災害時応援協定都市との連携強化
- 防災関係台帳整備

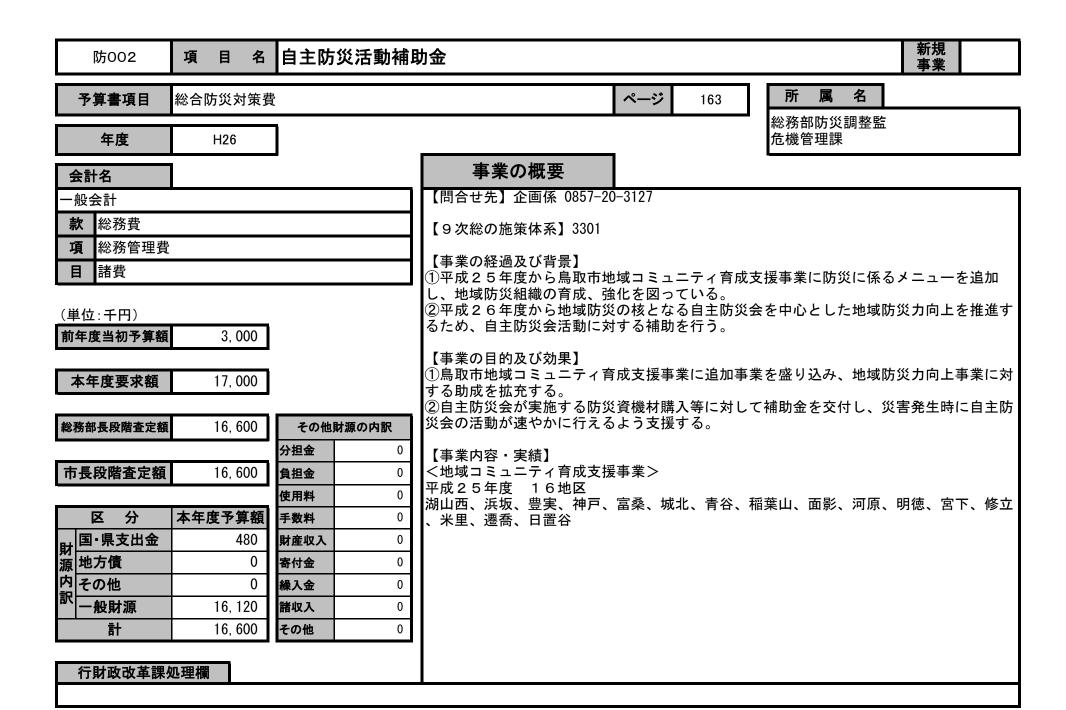
【今後の取り組み】

より効果的に災害対応が行えるように、随時手段等を見直していく。

【根拠計画】総合計画、鳥取市地域防災計画

【国・県への要望の状況】防災対策の充実に関する支援

【市民ニーズの状況】地域づくり懇談会、地区要望等



新規 項目名 防災行政無線維持管理費 防003 事業 所属名 総合防災対策費 ページ 予算書項目 163 総務部防災調整監 危機管理課 年度 H26 事業の概要 会計名 【問合せ先】企画係 0857-20-3127 -般会計 【9次総の施策体系】3301 款 総務費

(単位:千円)

**目**諸費

前年度当初予算額 35. 759

総務管理費

41.031 本年度要求額

総務部長段階査定額 37, 463

市長段階査定額 37, 463

	区分	本年度予算額
87	国·県支出金	3, 360
源	地方債	0
内品	その他	0
狐	一般財源	34, 103
	計	37, 463

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【事業の経過及び背景】

本市の防災行政無線等は、主に市町村合併前より各町が整備した同報系、鳥取地域及び 合併前の各町で整備し消防団や災害時の通信手段としてきた移動系、また鳥取地域で消防 団が無い地域の公民館等に配備したMCA無線がある。これらに、平成22年9月に全面 運用開始となった鳥取・国府地域の同報系防災無線が加わった。合併前の各町が整備した |同報系無線は、アナログ無線であり、老朽化が進み維持修繕が困難となりつつある。

#### 【事業の目的及び効果】

防災行政無線を適切に管理し、平常時の行政情報(鳥取・国府以外)及び災害時の緊急 連絡に万全を期して、市民の安全確保に資するもの。

#### 【事業の内容】

- ①防災行政無線、その他防災対策用通信設備の維持管理費(移動系、同報系)
- 本庁、各総合支所に設置してある防災行政無線の保守管理委託費、電波利用料、通信費 電気代など経常的な年間維持管理経費
- 鳥取・・・防災行政無線(移動系、デジタル同報系)、地区用防災(MCA)無線 国府・・・防災行政無線(移動系、デジタル同報系)

福部、河原、用瀬、佐治、気高、鹿野、青谷・・・防災行政無線(移動系、同報系)

- ②防災行政無線戸別受信機の修繕等
- 各総合支所管内の各家庭及び鳥取・国府地域の自主防災会等に設置してある戸別受信機 |の修繕、取付等|
- ③戸別受信機の購入

各総合支所管内防災無線の戸別受信機で、修繕対応できないものについての追加購入 【今後の取り組み】

老朽化しているアナログ防災無線を適切に管理し、運用に支障が無いように努めるとと もに、デジタル化に向けての無線のあり方を検討していく。

新規 項目名 鳥取消防署東町出張所移転整備事業費 防004 事業 所属名 鳥取消防署東町出張所移転整備事業費 ページ 予算書項目 261 総務部防災調整監 危機管理課 年度 H26 事業の概要 会計名 【問合せ先】消防係 0857-20-3118 -般会計 款 消防費 【9次総の政策体系】3301 項消防費

(単位:千円)

**目** 常備消防費

前年度当初予算額 126, 100

本年度要求額 192, 027

総務部長段階査定額 15.029

市長段階査定額 15, 029

	区分	本年度予算額
8+	国-県支出金	0
源	地方債	15, 000
内	その他	0
狐	一般財源	29
	計	15, 029

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 【事業の経過及び背景】

現在、市街地の防災拠点である鳥取消防署東町出張所庁舎(昭和43年建築、木造2階 建てほか)の老朽化が著しく、拠点機能の維持が困難な状況である。

さらに、近年の市街地における土地利用や人口形態の変化、防火対象物の建築状況、救 急要請の状況などから、効果的な消防・救急体制の実現が急務とされており、消防庁舎の 整備や消防・救急車両の配置など、消防防災体制の充実強化について検討を重ねてきた。

### 【事業の目的及び効果】

今後の展望を見据えた市街地の防災拠点づくりを推進するため、鳥取消防署東町出張所 の業務拡充に向けて、移転・新築を行う。

このことにより、迅速な救急業務、より機動的な災害対応が可能となるなど、市街地の |消防力の向上を図ることができる。

## 【事業の内容】

平成24年度 鳥取市土地開発公社が旧県庁東町分庁舎用地を取得 平成25年度 建設予定地の既存建物解体(鳥取市土地開発公社) 鳥取市土地開発公社から用地取得

建築設計・工事(消防局) 平成26年度

平成27年度 建築工事(消防局)

平成28年4月 東町出張所運用開始予定

新規 防火水槽整備費(単独) 防005 項目名 事業 所 属 名 ページ 予算書項目 消防施設等整備費 263 総務部防災調整監 危機管理課 年度 H26 事業の概要 会計名 【問合せ先】消防係 0857-20-3118 -般会計 款 消防費 【9次総の政策体系】3301 項消防費 【事業の経過及び背景】 **目** 消防施設費 地震による火災時や大規模な火災では、使用できない消火栓が生じる可能性があるため 地域の実情に応じて防火水槽の新設を行う必要がある。 (単位:千円) 【事業の目的及び効果】 前年度当初予算額 5,000 地域内の水道管の管径や消火栓の配置状況等を考慮し、必要に応じ防火水槽を設置する ことにより、消防水利を確保し火災時の被害軽減を図ることを目的とする。 本年度要求額 5, 776 【事業の内容】 耐震性防火水槽 1 基 (40 t) 新設 (佐治町高山(梨原) 地内) 総務部長段階査定額 5. 200 その他財源の内訳 【今後の取り組み】 分担金 消防水利の状況等により、必要に応じて設置を行う。 市長段階査定額 5. 200 0 負担金 【用地取得の必要性】 使用料 0 地域からの無償提供による。 本年度予算額 区 分 手数料 0 【市民ニーズの状況】 地区要望、市民の声等 財 源 地方債 0 財産収入 5. 200 0 寄付金 内その他訳 0 繰入金 0 一般財源 0 諸収入 0 計 5. 200 0 その他 行財政改革課処理欄

新規 消防ポンプ車購入費 防006 項目名 事業 所 属 名 ページ 消防ポンプ等購入費 予算書項目 263 総務部防災調整監 危機管理課 年度 H26 事業の概要 会計名 【問合せ先】消防係 0857-20-3118 -般会計 款消防費 【9次総の政策体系】3301 項消防費

(単位:千円)

**目** 消防施設費

前年度当初予算額 21, 018

本年度要求額 43, 211

総務部長段階査定額 21.606

市長段階査定額 21, 606

	区分	本年度予算額
財	国-県支出金	0
源	地方債	21, 400
内品	その他	0
狐	一般財源	206
	計	21, 606

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

## 【事業の経過及び背景】

本市消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。 老朽化により、消防活動に支障が出ることがないよう、計画的に更新していくことが必要 である。

### 【事業の目的及び効果】

消防ポンプを更新することにより、確実な消火活動を実施することができ、作業効率の 向上が図れるため火災時等における被害の減少を図ることができる。

## 【事業の内容】

- 消防ポンプ車老朽化に伴う更新(福部)
- ・小型ポンプ老朽化に伴う更新(津ノ井)

# 【今後の取り組み】

購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理 運用を行う。

【根拠計画】 第9次総合計画